

Table with columns for Item, Implementation Content, Progress at 5/31, Target, Status at 8/31, Responsible, and Action. It details various improvement plans from medical safety culture to disaster preparedness, with specific dates and actions for each.

5) 診療科体制指針：消化器内科体制 (プロジェクトチーム)	新規診療科におけるプロジェクトチーム体制指針に基づく、安全開体制、人員配置、症例カンファレンス、教育などに取り組み、安全な診療科体制を構築する。	-	患者安全を最優先とした、人員配置、教育、安全管理、症例カンファレンス等の確認を繰り返し行い、安全な診療科運営を行う。	定期的はプロジェクトチーム会議により、新規診療科プロジェクトチーム体制指針に基づく運営をおこなっており、模擬患者を置いて実施した実践的なシミュレーション研修により、多職種で安全面を評価し、内視鏡室内における安全管理を検証を行った。	消化器内科部長 外来看護責任者 内視鏡担当看護師	運営会議																				
6) 全診療科（11診療科）における診療科体制指針の作成		-	安全を最優先とした各診療科の診療内容の確認と他職種による研修の実施の明確化、院内研修、シミュレーション研修を実施する。	全ての診療科体制指針は策定が終了し、病院長との面談も終了し、医療安全上の課題についてもヒアリングは終了している。各診療科で実施する手法についても院内・院外研修の実施を継続している。病院長と各診療科部長との面談は2カ月一度実施していることとしている。	各診療科部長 各診療科担当看護師																					
7) 院内コミュニケーションの環境面の改善		-	院内互助会（親睦会）主催の食事会や病院長との茶話会、職員からの意見BOXの運用の再周知を行い、隠れている職員の声を拾い上げ、意見を吸い上げやすいように行うことで、風通しの良い職場環境を構築する。	9月以降で、院内互助会（親睦会）主催の食事会やスポーツサークルの活性化、院長との職員との対話の機会を設けたりと計画の確認ができた。また職員の声BOXシステムについても院内チャットシステムを使用し、より簡便に利用できるよう工夫がされる計画した。	事務責任者 看護部長																	計画開始	計画案提出	計画決定 2024年10月～		